

「京都で学ぶインドネシアと日本」

Ajeng Putri Pratiwi
インドネシア大学
1-12 August, 2016

京都サマープログラム2016で様々なことを勉強しました。日本語クラスの中では、日本語の1分スピーチやメールの書き方について習いました。ほかにも、日本語、日本文化についての興味深い講義を受講しました。このプログラムでは、日本語だけでなく、日本文化や京都の歴史について学習する機会を得ることができました。他にも、日本文化講座として、書道の実践がありました。また、京都府庁では京都府政についての講義も受けました。学外研修として、京都府京丹波町に行き、参加メンバーと共に日本料理や餅を作る機会がありました。京都の文化だけでなく、大阪の文化についても勉強しました。学外研修で大阪に行った際、能を鑑賞し、花火を楽しむという貴重な機会を得ました。

日本での研修で学習を重ねるにつれ、日本の習慣や日本人の考え方について理解できるようになりました。また、日本語に関しては、適切な文法の使い方を学び、日本語をつかったやりとりに慣れてきたため、スムーズな会話ができるようになりました。そのほかにも、言い表すことができないほど素晴らしい経験を得ました。

今回、日本に来ることかでき、大変貴重な経験、すなわち、日本社会、文化の中で直接日本人と日本語を使ってコミュニケーションをするという経験をすることができました。京都では様々な場所を訪れ、色々な体験ができました。

2週間という短期のサマープログラムでしたが、十分な学習ができました。京都は日本の文化の中心であり、多くの歴史的遺物を残していて、伝統的な物と現代的なものが混じり合っています。個人的には有名な文化財の多さに惹かれたので、今後、京都の伝統文化について研究したいと考えています。